

# チーム星峯西小学校で取り組む「EdTech (エドテック)」とは？

鹿児島市立星峯西小学校

あまり馴染みのない言葉かもしれませんが、「EdTech (エドテック)」とは、教育・学習領域にIT技術を導入することを指している、Education (エデュケーション：教育) と Technology (テクノロジー：工学) を組み合わせた造語です。日本語に直訳すれば「教育工学」という意味になります。このEdTechには、大きく分けて2つの分野があります。一つは、A 「児童生徒の学びに直接的に有効なもの」これがいわゆる「教育の情報化」になります。もう一つが、B 「学び以外の効率化を図るもの」です。

現在、本校ではこれからの情報化社会・デジタル時代に主体的に対応できる子供たちを育成するために、様々な実践を行うとともに、学校と家庭間のコミュニケーションの効率化に努めているところです。令和3年度に取り組んだEdTechをAとBそれぞれについて具体的に紹介します。

## A 子供たちの学びに直接的に有効な取組

- ① テレビ会議システム (Teams) を活用した校内行事 (始業式、終業式、児童総会等)
  - ② テレビ会議システムを活用した遠隔授業 (トヨタ九州宮田工場のリモート社会科見学)
  - ③ テレビ会議システムを活用したオンライン授業 (4年以上の全クラス)
  - ④ 学習ソフト (ロイロノート) を活用した日常の授業実践
  - ⑤ デジタル教材 (タブレットドリル) を活用した学力補充指導 (朝のドリル学習、家庭学習)
- GIGAスクール構想で配備された一人一台のタブレット型端末 (Teams、ロイロノート、デジタルドリルなど) を学校行事、授業、補充指導等に積極的に活用して双方向型のICT教育を行っています。

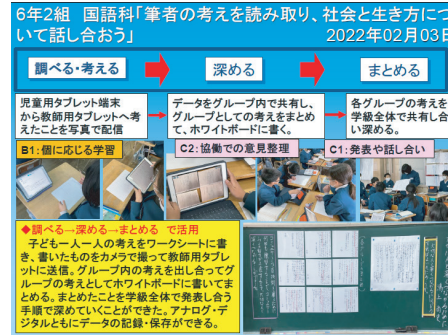


図1：A-④ロイロノートを活用した日常の授業実践



図2：A-⑤デジタルドリルを活用した学力補充指導の様子

## B 学び以外の効率化を図るコミュニケーションツールとしての取組

- ① YouTube オンライン配信 (保護者説明会、運動会、卒業式等)
- ② 学校だより等のペーパーレス化とネット配信 (学校HP、メール配信)
- ③ Google フォームを活用した各種アンケート (学校評価アンケート等)
- ④ デジタル通信システムを活用したメールでの欠席・遅刻届

このようにEdTechをAとBの二つの側面から推進していくことが重要だと考えています。

現在、日本の社会は、すべての業界でDX (デジタル・トランスフォーメーション：デジタル化して業界全体を変革していくことを進めています。教育界のDXの動きを見据えながら私たち大人 (教職員・保護者) もICTリテラシー (より専門的な「知識」「応用力」「活用能力) を高めながら、子供たちに関わっていくことが必要だと思えます。

(校長 谷口 源太郎)



図3：B-①YouTubeオンライン配信

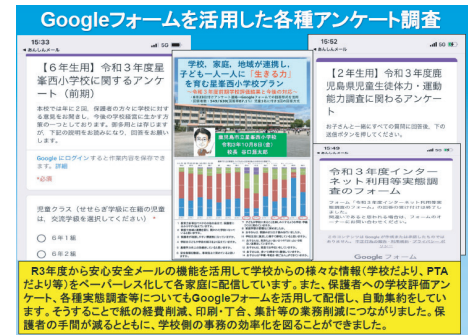


図4：B-③Googleフォームを活用した各種アンケート調査